

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 1月30日

事業所名 放課後等デイサービスセンター えがおの教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	4	2	・利用される子どもが成長すると共に、体を動かして遊ぶスペースが、狭く感じるため、支援内容に変化を付ける等、工夫している。	・成長し、体が大きくなり、利用人数により訓練室が狭く感じることもあるが、日々の利用者数に応じた支援内容を変化させ、安全に過ごせる様にスペースの確保に努めていく。
	2	職員の配置数は適切である	4	7		・定員に対し、人員基準以上の専門職（保育士・社会福祉士・教員・児童福祉分野の経験）を配置し、専門性を備えたスタッフを配置し、支援内容も個々に合わせて支援するように工夫している。	・個々の障がい特性により、関わる人数や対応等が難しい場面もあるが、安全に楽しく過ごせるように、支援内容等を工夫し、個々に関わる人数等の職員配置や対応に努めていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9			・館内は、バリアフリー化されているが、内玄関の段差に対しては、簡易スロープ（必要時）を設置しており、随時、適切に対応している。	・館内に手すりや心障用のトイレが設置されている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	2	1	・法人でPDCAサイクルを作成している。	・PDCAについて理解できていないため、学ぶ時間が必要である。 ・事業所内でのPDCAサイクルについて広く職員が参画はできていないため、していけるように努める。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	7		・アンケート調査を実施し、保護者の意向等を把握し、改善に努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	9		・ホームページで公開すると共に結果を事業所内で報告・回覧し、共有している。保護者には、結果を文書で報告している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			2		・第三者評価は、実施していない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	2		・外部の研修会等の案内を事業所内で回覧している。	・職員全員の集合研修への参加は、できていないが、計画は、検討しているので、今後、実施していけるように努める。 ・オンラインでも実施できるよう努めたい。
適切	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	2			・日々の利用の中で、子どものニーズを把握し、アセスメントを適切に行い、サービス計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	8		・ミーティング等で子どもの様子を共有し、支援の仕方や対応等について、共通認識を持ち、取り組めるように努めている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	7	・当日の利用児を見て、慣れた活動又は新しい活動を取り入れるかを工夫し、話し合い、支援している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	2		・長期休暇時は、スケジュールを決め、利用者がわかりやすいように壁に掲示したり、集団活動等も多く取り入れ、支援に工夫している。	

な 支 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	2	・放課後等は、集団での活動は、あまりできていないが、長期休暇中は、個別活動と集団活動を組み合わせている。	・放課後は、個々に支援する時間が違うため、集団活動を取り入れることが難しいが、状況に応じてサービスを提供できるように努める。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10		・支援開始前には、ミーティングを行い、当日の予定等を確認している。	・詳細な支援内容等の打ち合わせについては、足りていない部分があるため、ミーティング時に共有できるように努める。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	1	1 ・支援中でも気づいた点や連絡等は、伝達し、共有している。 ・翌日のミーティング時に前日の利用者の行動や築いた点を報告し、共有している。	・その日内には振り返りの時間が取れていないため、翌日には振り返りを行っているが、できる限り、支援終了後に伝達できるように努める。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	2			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	4	・モニタリング結果記録を速やかに報告しているため、支援の参考になっている。	・相談員により、学校の担任が不参加の時もあるため、モニタリング時に学校の様子がわからないことがあるので、詳細にわかると良い。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2	1	・利用者の状況を見ながら、地域で開催される行事等の見学や参加をしている。 ・ボランティアを受け入れし、活動の幅を広げている。	・地域交流の機会は多くないが、個々の利用者状況を考慮しながら、様々な活動ができるように努める。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		・児童発達支援管理責任者が参画している。		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	1	・支援学校のバスからの降車時には、人数確認や市内学校への迎え時は、学校で様子等の連絡により、情報共有している。	・バスからの降車人数と当日の利用者数の確認に努める。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	2		・現時点で医療的ケアが必要な対象者はいないが、受け入れる場合は、連絡体制を整えられるように努めたい。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4		・就学前には、ケア会議・モニタリング等に出席し、情報共有をしている。		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3		・移行支援の会議がある場合は、情報を共有している。		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1	1	・他センターとの連携が少ないため、専門機関と連携し、助言や研修を受けられるように努める。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		2	2	・利用者本人の特性や利用時間帯等も異なるため、交流の機会がない現状であるが、機会があれば、実施できるように努める。	
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している		1	1	・児発管が、部会に参加している。	・全部会への参加は、できていないが、できる限り参加するように努めたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1		・保護者迎え時に行動や支援内容を記入した連絡帳をお渡しし、口頭でも直接お伝えし、共通理解をしている。	・できる限り、連絡帳と口頭で状況や課題を伝えられるように努める。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			2	・ペアレント・トレーニングの具体的なプログラムは行っていないが、保護者から相談等があれば、対応している。	・保護者に対してのペアレント・トレーニングは、とても大切だと感じているため、支援できるように努める。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1			・丁寧な説明等に努める。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	2		・連絡帳の記録やモニタリングにおいて子どもの姿や状況を知ることにより、保護者の参考になっている。	・保護者からの相談等には、適切に対応するように努める。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			4		・保護者会は設けていないが、保護者からの要望等があれば、保護者同士が連携できるように努める。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	7		・定期的に会報を発行し、子どもの活動内容等をお伝えしている。	
	35	個人情報に十分注意している	8	1		・十分注意しているが、想定外のことが発生した時には、瞬時に相談・対応できる様に努めている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	5		・子どもに対しては、絵カード等を利用し、意思疎通や情報伝達の配慮をしている。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	1	3	・福祉祭り・初詣・図書館・消防署見学等地域の中の行事に参加し、学生や地域ボランティア等の受け入れもしている。	・地域住民を招待しての行事等は、感染症予防のため、できていないこともあるため、状況を見ながら地域の行事等には参加するように努める。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1		・各対応マニュアルは、策定し、書類は、誰でも見やすいように正面玄関に設置している。	・保護者への周知に努める。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	2		・地震・火災発災等を想定し、定期的に訓練をしている。また、消防署見学を実施し、一人ひとりの防災意識を高めている。	・様々な想定をし、訓練等を実施できる様に努める。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2		1	・児発管が県主催の研修会等にオンラインで参加している。	・できる限り研修の機会を確保できるように努める。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			3	・法人でマニュアルを作成している。	・現在、サービス計画に記載する対象者がいないが、対象者が出てきた場合は、記載するように努める。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2		・個別サポートブックへの保護者の記載により、事業所内で共有している。	・医師から保護者への指示書に基づき、対応に努めている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11			・ヒヤリハットは、その都度作成し、事業所内で共有し、日々の支援に生かしている。 ・支援の中での気づきを大事にするようにしている。	